

加茂町会場（ラメール）

Q21：大きく2点について話させてほしい。1点は、先程市長が言われたように、人口減に伴い自治会のあり方が厳しくなっている。その中の一つとして、消防団員の確保が非常に難しいということがある。あちらこちらの自治会も同じ状況だと思う。地域再編などのことがあれば教えてほしい。何か良い案があればお願いしたい。2点目は、市長からあった地域自主組織のあり方について。加茂町では迷いに迷って一本化、支部制に向かうことになっている。今まで取りまとめられ報告もあったが、自分が思うには当初から（地域自主組織について）住民の頭になかった。公民館活動についてあったが、自治会で地域自主組織について説明しても理解してもらえない。高齢者に何回も説明するがわかってもらえない。地域自主組織の位置づけが明確でない。地域自主組織が自治会の上なのか並びなのか、下か横かという感覚で物事を捉えるがためにうまくいっていない。他町ではうまく理解されていても、加茂ではそういう状態でないし、公民館活動がなかったがためにうまくいっていない。自分も最近会になかなか出れないが、地域自主組織と自治会の両方に関わっていけば、とても他のことができないという実情である。現在のままでは構成が偏る。加茂では交流センターの強化を望む、地域の支援をしてほしい。現在のままでは機能しないのではないかと思う。どんな形になっても（地域自主組織が）上部であると。他町は経験を積んでいるので、何らか加茂へ話していただければ。

Q22（関連質問）：今、地域自主組織について話し合っている。1交流センター1組織ということで取り組んでいるところ。我々としても市へ職員（体制）の強化・建物のことをお願いしているが、市と一緒に今市長が言われたように必ずや来年4月1日スタートできるよう準備委員会を立ち上げ鋭意検討しているが、いい意見を出してもらった。

A：市から団員確保のこと、消防団編成基準を示しているところ。ご承知の通り市全体でも定数欠員あり、現在見直し作業をすすめていく予定。消防団と一緒に組み方の検討をしていきたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。（統括危機監理監）

A：今ご意見があったが、加茂の場合14地域自主組織で発足して現在に至り、このままだとなかなか他町の地域自主組織のような活動ができないということで協議され、組織の一本化という考え方をまとめられ、4月1日からスタートするような取組みが進められていると聞いている。協議会長さん等から、4月から一本化するための交流センターの設備や職員数についても積極的に対応してほしいと市へ要望があった。これまでの14組織を一つにまとめられたことのご努力に敬意を表するところであり、要望事項に対しては市として積極的に対応していきたいと申し上げた。ぜひ理解を共有してほしい。

さて、なぜ地域自主組織方式が市で展開されようとしたか。全国市長会で全自治体にアンケートをとり半分以上回答あった中では約350、回答はなかったが似たものも含めると500自治体が公民館を中心とした方法でまちづくりをしていく方向としている。なぜなら公民館を拠点としたまちづくり、中山間地域では高齢化が進んでいる。雲南市だけの問題ではない、空家、独居老人、高齢者のみの世帯がどんどん増えている。その結果として家庭力が低下し、その集まりである自治会力が低下し、そういう自治体の集まりである地域力が低下している。そうなるのを何とかストップをかけたい。そのためにはどうするかということで、雲南市として注目したのは公民館。館長さんと主事1人か2人で公民館を拠点としてまちづくり・生涯学習推進をしてきた。実際合併スタート時からすでに福祉・地域づくり・営農組合、私たちの生活360度の拠点になっているところもある。それなら公民館のような連合自治体的な組織をもっと強固にする必要がある、それなら営農組織・PTA・老人クラブ一緒にして公民館を拠点としたまちづくりをやっぺいこうとスタートした。もともと公民館があるところはすんなり一つの交流センターになった。加茂にも昔公民館はあったが焼失、次は旧役場であったがこれも焼失。その後なかよしホールを位置づけていたが急ごしらえで他町とニュアンスが違っていた。そこへ地域自主組織ができた。やってきたが結果どうもうまくいかない、このままだと他町のような活動ができない。今言われるように、一人で何役もできない。一自治会の構成人数が少なくなり少子高齢化が進んできた、自治会力が低下してきたのを複数自治会集まってカバーし合おう・自分達の力で地域づくりをしよう。

それは、決して行政が今までしてきたことの下請けではなく、空家がでる、独居・高齢者世帯になる、そういうことになかなかこれまでも、自治体はこうしよう・助け合いをしようというまちづくりまで手が出ていない。ましてや合併した自治体は行財政改革をしなければならず職員数が減っている。いよいよ寂しくなる自治会の集まりを何とかしようということである。市民の皆さんの動きは決して行政の下請けではなく、新たな公共的役割・新たな公というものに位置づけられる仕事である。言ってみれば手が届かなかった行政組織をカバー・補完する組織である。しかし、そうは言ってもなかなかパワー不足、地域自主組織がそこまで一生懸命されるなら行政も手伝う。できるのは自助共助の自助、共助というのは複数の地域自主組織で助けあう、それでもだめなら行政が手伝う公助、そういう仕組みが市全体でなされようとして現在に至っている。加茂の場合は昭和9年に3自治体が昭和の大合併をして以来、一つの役場、公民館もなしに平成の大合併までやってきた経緯がある、それも大切にしたいそれまでのまちづくりを振り返りこれからのまちづくりに生かしてほしい。そのための知恵と工夫を市民の皆さんも考えられ、行政も一緒になり同じ目線の高さでバックアップする、また行政も助けていただきながら頑張っていきたい。一つの地域自主組織でしっかり地域づくりを進められるよう対応していきたい。(市長)

**Q23：防災のことについてお尋ねしたい。先般豪雨災害50年式典があった。斐伊川から神戸川に流す水路が完成したが、そのために赤川の水位がどうなるか知りたい。下神原の“なまずの尾”が長くあるが、あの幅で大丈夫か。少しでも雨が降ると赤川の水位が上昇し、グラウンドゴルフをしている河川敷が浸かるので心配である。**

A：俗に言う3点セットでの対策となっているが、尾原ダムについては、上流で水を貯めて斐伊川本流の流量を調整して流している。上島観測点の計測地点で一定の量がオーバーすると、斐伊川放水路へ放水する仕組み。県も調査し、現在のなまずの尾は赤川の流量も調整しながら流していくということになるが、基本的に現在の幅で充分まかなえるとの見解。ダム・放水路・本流調整により支流も一定の量に保たれる、赤川の流量も調整しながら基本的に充分まかなえる。(建設部長)

A：建設部長が説明でも話した3点セット実施後、関係の水位が下がっている。先ほどの話でも言ったがおとし3月に尾原ダム、6月に放水路が完成したが、その直後の7月から9月は大雨が降り特に石見、江津、津和野に大雨が降り、9月にはこのあたりも大雨が降った。放水されてダム水量が調整され、斐伊川宍道湖の水位が下がった。なまずの尾は斐伊川流量が管理されている。ダム、放水路の効果は赤川にとってもいいはたらき、水位降下にあらわれている。なまずの尾の働きは多大な好影響の仕掛けだと思う。河川の法面の樹木の伐採など危機管理をこれからもしていく。出雲河川事務所へも定期的に要望している。国県に対して要望をしている。今後もしっかりと管理していく。(市長)

**Q24：市長より合併後10年の業績の話があったが、市当局の大変なご努力に敬意を表したい。施策をしたいが協力してくれないなどの苦勞などはどうか。また、市立病院について設備はどうか。改築ではなく新築のような写真であるが、どのような改築内容か、どんな設備をいれるのか、ベッド数はどうか。個室の数、現在は個室がなく、また30日間に8回部屋が変わったということもあり、そのようなことも考慮に入れ療養しやすい設備を入れてほしいと思うが、内容を話していただきたい。**

A：合併後苦勞ばかりではあるが、市民の皆様の協力によりここまでやってきた。一体化というところでは事業量の配分が加茂30km<sup>2</sup>、木次60km<sup>2</sup>、三刀屋80km<sup>2</sup>、吉田掛合110から120km<sup>2</sup>、大東150km<sup>2</sup>だが、そればかりではなく、道路や上水道などの生活基盤や公共施設などを見ると、町村によって事情が違い、一概に面積按分ということにならず、投資がアンバランスとの意見がある。理由を述べて理解を求めているがなかなか理解してもらえない。今までより不利益を受けるところは不満はある。一体的発展のためには不均衡と思われるところはやむを得ない。公共料金も、統一したが、低いところは上がるし、高いところは下がった。高いところはいいが、低いところからは、どうしてかという意見があった。6つの町の一体化を図っていく上では、向かい風が吹いていた。だが、合併して10年も近づき、そういう事情も理解していただけるようになってき

た。(市長)

A：病院改築のお尋ねについて。現在実施設計している。(資料) 3ページにイメージ図を載せている。図面から全部新築と捉えられたかと思うが、現在3棟あり一番古いのが西棟、横に東棟、南棟があるが、今回は、東棟と南棟を残し駅前の西棟を壊すという形で改築と言わせてもらっている。療養環境とか施設の問題点を言われているが、大きく3つ言われていることが、駐車場が少ない・病室が狭い・迷路のようになっているということ。正面をバイパス側へ変更、現在と真反対に駐車場を150台分、身障者用駐車場も準備し合計350台、玄関前にもつくる。病室については現在6人部屋11室、6.4㎡以下もかなりあり、本当に手狭でご迷惑をかけている。今度の改築ではすべて8㎡以上確保するようになっている。その中の個室部分は現在10%だが25%程度準備する。6人部屋は無くなりあとは4人部屋になる。1室あたり面積が広がる。十分な療養環境を保てるような形をとらせてもらいたいと思っている。迷路になっている状況は、駅と南側玄関まで南北軸を設ける。ほとんど患者さんが入るところが新棟ですべて賄えるような状況にしている。迷路は解消するのではないかと思っている。病室を何回も変わるというお尋ねがあったが、現在の医療の流れとしては、急性期から回復期という当院にもそういう流れがあり、流れの中で多少の病室移動を行わざるを得ない状況。ただ今は、病室が狭かったり手術後にはナースステーション近くの病室にまず入ってもらうなど病室を変えることがありご迷惑をかけているところがあるが、医療の流れがこのようになっており、多少の移動が今後も起きるかもしれないがご理解いただきたくよろしくお願いしたい。(病院事業副管理者)

A：2点だけ追加で話したい。10年間の苦労について、市長が最高責任者、加茂出身でつらい立場もあっただろうと思っている。最初にあったように特にインフラ整備は水道下水道整備率100%近い状況で、他の低いところを上げることを実施。あとの5町をみた時に、大東、特に吉田町は20~30%台で、同じ水準までもっていくことが大きな課題だった。どうしても6町的には大東・木次など道路に予算確保、事業費を使ってきたといえると思う。そうしたことで議員さんからも、もっと加茂へ色々な事業を持ってこなければいけないのではないかとずっと主張していただいたところである。特にたまたま10年間を振り返ると加茂が一番公共事業、普通建設事業費の投資額が少ない。それに対する色々な声があることは承知している。ただ合併して10年これからどういう情勢になるのかわからないが、少なくとも雲南市がずっと続くという長期的な考えで見いただければ、これからは加茂の時代になってくる。それは、企業団地、市有地4ヘクタールくらいあるところへいい道路をつけて、将来の市の発展基盤をつくっていきたいと思っている。南加茂のネスターのあるところはおかげで全部埋まり、今後更に拡張計画して色々な企業誘致を呼び込んでいきたい。加茂は松江あるいは出雲に近いということで、金丸団地などすぐに売れ第2期工事もそのようなことをみてまた今度15区画売り出すようにしているが、やはり加茂の場合は近いということ・芸術文化活動が盛んということもあり他の地域・市内の他の地域からの転入もあるということで、長いスパンで考えていただきたい。そういう意味では市の均衡ある発展というかそれぞれの地域の特性を生かした地域ごとのまちづくりを全体的な視野にたって進めていく必要がある。その中でも加茂はまだこれから人を呼び込む力があるところだと思っている。

質問について、放水路事業で水位がどれだけ下がったか、たまたま本日副市長会があり説明があった。昨年放水路4.1kmが完成し、最大計画放水量の毎秒4500トン流れた時に2000トン放水路へ流すという計画であり、昨年9月に大雨が降りさっそく稼働した。具体的には、上島地内最大流量毎秒1250トンのうち550トン进行分流し、流量比5対4の割合で分水し水位を下げた。ダム・放水路がなかった時と比較して上島10センチ、大津80センチ、灘分80センチ、宍道湖湖心20センチそれぞれ低下した。具体の効果がすでに出ていると思っている。赤川で実際どれだけ影響がでているかは調べなければならないが、斐伊川そのものが水位低下しているのもそうした効果が確実にあらわれていると思っている。(副市長)

Q25：温水プールのこと。かもてらす周辺に施設を造る構想があり、その後色々変遷があり今のところどうなっているかわからないが、自分は施設(かもてらす)そのものが充分活用されていないと思っている。以前は市の健康福祉センターもあったし、何年か前にはかなり利用度も高かったと思う。そういう面からいけばせつかくの風呂の施設もあるし、いろんな面で健康増進の中心施設ではないかと理解している。B&Gプールも老朽化しているし、かもてらすの施設と合わせて、雲南市にとっても本当にいい構想と思っていたがどうも頓挫している。金丸団地の話もあったが住みやすいということでこちらの人口が増えているのは事実と思う、こ

のように考えると子供の養育・健康のため意義のある、市にとっても便利な所で非常にいいと思うがその後どういう構想になっているのか、自分は形が変わっても実現していただくよう要望したい。

A：保健と医療の融合施設については現在は休止状態。平成23年度に他の大型プロジェクト、市庁舎・病院との3点セットで市政懇談会で説明してきた。一番大きな関心は保健と医療の融合による健康増進施設、タイトル自体も大仰と思われたが、「なぜ市庁舎・病院もある中でプールなのか」と。検討委員会を設け色々検討したが、市政懇談会、議会、検討委員会で時期尚早との判断があり市庁舎・病院を先行させる形になっている。他のプロジェクトは目途がきつ々ある。温水プールについては、当初かもてらす横に造り、連携する形でぜひ市民の健康長寿・生涯現役の基盤を作りたいと考えていた。建設費が7、8億、維持管理費が毎年4千万以上、人の配置をきちんとしていけばそのくらいかかる。これに耐えられるかという意見があり、加茂は市の北にあり少し中心から外れる、吉田とか掛合からは行きにくいなど色々な意見がありそれももつともである。ただ年中使える温水プールは必要だろうと、現在出雲・来待で利用されている人もあり、全身運動が健康にいいという思いを持っている。身体教育医学研究所の武藤先生・運営委員には水中運動はいいことだと言っていた。問題は経費をかけずに管理経費を出していくことと思っている。かもてらすでもう一度出すということは再度色々部内で検討しているところ。しばらく時間をいただき、夢はあきらめてはいないところ、もう少し市民の皆さんに「そういうことならいいのでは」と言ってもらえる案を作る必要がある。決してあきらめた訳ではないので、そのあたりをご理解いただきたい。(副市長)

Q (再質問)：B&Gも老朽化している、なおかつ来待へ行く人もあるので、財政面コストの問題・色々な課題があると思うが、いずれかの方法で実現できるよう努力をお願いしたい。

Q26：あかがわ連合会長として要望したい。人命ということをお願いがある。先ほど39災の話があった。川・水・水位の問題だったが水位のことで十分回答いただいたと理解している。ただ、水位が低下しているから堤防は大丈夫とは認識していない。堤防の耐用年数50年だが今年がリミットになる、市民は島根県は神に守られているから何も起こらないとよく言われるが、内心不安もあると思う。もう一つは、水位より崖崩れのほうが起こる頻度が高いと感じている。個人が関わるもの・市・県・国とそれぞれ所管が違うが、仮に国県となると言ってもなかなか通じない。それを代表して言ってもらえるのが市ではないかと思うので、そこで要望したい。あかがわ連合地内で素人目で見てももう崩れるのではないかという地域がある。自治会長が市へ要望している。総合センターから県へ言っではもらっているが市からは「県へは言っているのだが」という回答。ということは、県は動いてくれない、実際県が動かないと安全確保できない、では県が動かないからと言って放っておいて突然山崩れが起きたとしたら大変なことになる。だから申し出は多分危険地域が多々あっても、土木委員が自治会長が書面で申し入れをしないと市では全部掴めない。定期的な点検をしてもらうことと今要望が出ているものについては県や国へ強烈にアプローチをかけてほしい。県から見に来たという話は一つも聞かないので、要望を受けた者としては残念であり不安であり受けた手前県に来てもらわないとまずいので、そのために要望したい。たまたまキャンプ地で人が亡くなったが、県は指導していたと言っておられたが、結果的に亡くなられた。こと山や崖となるともつとことが大きいと思うので、市から国・県へ強くアピールし、また点検を要請してほしい。

A：まずは、堤防について構造がコンクリートの護岸は耐用年数50年と言われているが、これらについては、出水前に県で一斉点検をされている。そういった点検をした上で必要な対策を行っておられる。今年の点検では異常は見うけられなかったということである。必ずしも耐用年数50年だから、50年経過すればすぐダメになるということではなく、点検をしながら対応されている。次ががけ崩れについて、例えば急傾斜地については、地元などからの要望を基に市では県へ毎年要望会を行っている。一定の条件がありこれにより国補助事業・県単事業で該当するものについては当然随時実施してもらっている。県も予算的な問題があり、砂防を含め川と同様に毎年点検されている。目に見えないということがあるが、そのあたりはその都度点検結果を何らかの方法で報告したい。もう崩れそうで非常に心配というところについては、総合センターに報告されているということなら再度県へ要望しておきたい。県で点検していただき、崩れてはいけないので必要であればそれなりの処置をしていただくよう要請していきたい。(建設部長)

Q (再質問) : 総合センターに要望を出しているし、総合センターからも県に言っているものと思っている。ただ、県の方が点検に来られたという話は1度も聞かないし、例えば、私のあかがわ連合地内という、駅から宍道の方に向かって右側の山のあたりとか、木が生えているから大丈夫だと言われるとそれまでだが、地盤は外から見ただけではわからないので、1度点検をしていただくような要請はできないものか？ 予算と言われると何とも言えないが、人の命に関わることなので、全く動きを感じられないので、それを要望したい。総合センターは動いていただいていると思っているし、報告していただいているが、肝心要の県の方が動かなければ、結果は出ないので。結果が出ないと、何か起こってからではどうしようもないので、要望を強くお願いします。

A : 総合センターへ報告されていると伺っているので、そのあたり再度確認をさせていただいて、県の方に要望をしながら、当然点検をしていただくようにしたいと思う。(建設部長)

A : 先ほどの件については、現場を総合センターで再度確認し報告したい。(加茂総合センター事業管理課長)